

「あらゆるものが美しくあれと願って、それをつかみ出すことに専念してきた。」



『花舞台』より(巻後)

「女性ポートレート」や「花」の作品などで知られ、戦後日本写真界に大きな足跡を残した秋山庄太郎(1920-2003)。米沢にアトリエ「山粧亭」をかまえて年数回訪れ、この地と深い関わりを持ちました。「美しいものをより美しく」という撮影理念に基づいた作品は幅広く親しまれています。

60年以上にわたる写真家人生は決して順風満帆なものではありませんでしたが、ネガティブな状況にあっても常にポジティブな思考で信念を貫いた秋山庄太郎の生き方は没後10年を迎えてなお、現代に生きる人々にメッセージを送り続けています。秋山庄太郎の写真家人生を作品が奏でるメロディーにのせて振り返ります。



『パリにて』より(バリエーション)1960年



『花-365日』より(山粧)1984年 撮影地: 米沢市 当館蔵



『花-365日』より(ダリア) 撮影地: 川西町 当館蔵

©秋山庄太郎写真芸術館

「自分で望んだわけでもないが、常に裸一貫の人生だった。そして、つらいことがあっても、おもしろがっちゃえばいい、これが私の人生のメロディーである。」

秋山庄太郎



秋山庄太郎(1920-2003)  
東京生まれ。早稲田大学商学部卒業。1947年近代映画社入社。51年フリーに。数多くの女性ポートレートを手掛ける。50年のパリ外遊を経て作風の幅を広げ「花」をはじめ独自の世界を展開し、戦後日本写真界に大きな足跡を残した。

◆ギャラリートーク(展示解説)

①6月22日(土)10:00~ ②6月30日(日)14:00~ 要展示室入館料

講師: 上野正人氏(秋山庄太郎写真芸術館館長)

◆募集制ワークショップ

「体感! 発見! 秋山庄太郎流写真撮影の魅力」

6月29日(土)13:30~15:30

講師: 秋山庄太郎写真芸術学芸員・秋山庄太郎写真芸術協会会員

対象: 小学生~大人20人程度 参加費: 500円 要申込 受付: 5/30~

◆自由参加制ワークショップ

「日光でフォトグラムをつくろう」

7月21日(日)13:30~15:30

場所: 体験学習室 申込不要・無料 ※材料がなくなり次第終了

◇置賜文化ホール連携事業

秋山庄太郎展記念コンサート「音と色のあいだ」

6月29日(土)18:00開演

【出演】中村由利子(作曲家・ピアニスト) 【特別ゲスト】紺野美沙子(女優)

全席指定 一般3,000円 学生1,500円(当日各500円増)

お問い合わせ 伝国の社(0238-26-2666)

常設展示室 上杉文華館

国宝

「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示

6月15日(土)~7月4日(木)

休館日: 6月26日(水)

\*通年テーマ展示

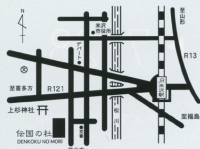
国宝「上杉家文書」が伝える、上杉鷹山の生涯



次回企画展

「大正百年の浪漫 夢二の夢 — 竹久夢二の生涯 —」

8/3(土)~9/23(月祝) 休館日: 8/28(水)



- 米沢駅から2km、上杉神社隣接
- 市内循環バス「上杉神社前」下車
- 市内循環バス南回り路線「九重学園」下車
- 山形県主に福島版ICよりR13で約50分

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1  
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660  
http://www.denkioku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp